

平成22年度 東京都脳卒中医療連携協議会 地域連携パス部会の議論の到達点

1 パスの標準化(統一化)に向けた検討

地域連携パス部会内に3つのワーキンググループを設置し、各課題について検討した。

- ① 患者説明用のオーバービューの標準(統一)様式の検討
- ② 区部の脳卒中地域連携パスの標準(統一)様式の検討
- ③ 在宅期パスの標準(統一)様式の検討

2 「東京都脳卒中地域連携診療計画書」(案)

① 「患者説明用パス」

- ・イラストや図式を多用し、介護保険の申請など、在宅サービスについての説明を加えた様式にした。
- ・パスの一部として、患者情報の記入欄及び患者同意欄を設けた。


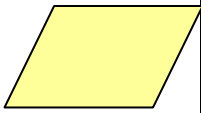
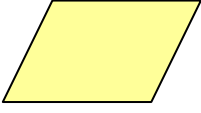
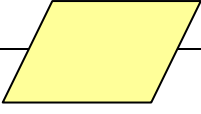



② 「急性期パス」「回復期パス」

- ・内容を簡略化し、診療報酬請求上で最低限必要な項目にしぼった。
- ・入院時と退院時に機能評価を行う形式のものにした。

③ 「在宅生活ノート」

- ・退院時指導料(Ⅱ)の算定に必要な項目を設けた。
- ・回復期から維持期への連携だけではなく、「在宅生活ノート」として、退院後の在宅生活において長く使えるものにした。

3 標準(統一)様式の運用イメージ

		急性期	回復期	維持期	
東京都脳卒中 地域連携診療計画書	患者用	 患者説明用パス			<ul style="list-style-type: none"> ・総治療期間や標準的な転院までの期間が示されているもの。 ・個別の患者ごとに作成し、急性期医療機関入院後 7 日以内に患者に説明する。
	医療者用	 急性期パス	 回復期パス	 在宅生活ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・退院基準や日常生活機能評価の結果を記載する。
診療情報提供書					<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソンなどの家族背景や処方内容など、患者情報を記載する。
急性期→回復期 入院申込書					<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけパス様式と重複しないようにする。

4 その他

- ・当面、現在の事務局はそのまま運用し、標準(統一)パスへの切替は、事務局の判断により順次行う。
- ・標準(統一)パスへの切替等の状況については、パス合同会議でご報告いただく。